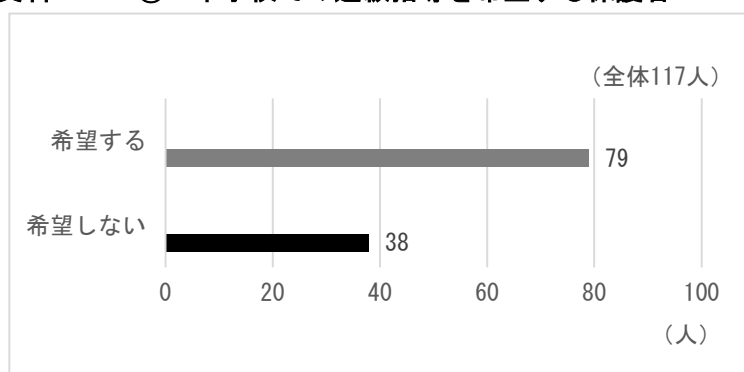


2 本県の中学校の発達障害通級指導教室は年々設置が進んでいますが、生徒・保護者のニーズに応えるには、教室数や担当者数が十分であるとは言えません。高等学校の通級による指導についても、実施学校数が少ないため、中学校で通級に通い、高等学校でも継続したい生徒が通えない現状があります。そこで、下記の点について、ご検討をお願いします。

- ・未設置の市町に中学校の発達障害通級指導教室を新設すること
- ・現在設置されている発達障害通級指導教室の担当者を増員すること
- ・全日制、定時制の課程の高等学校において、通級による指導をより多くの学校で実施すること

資料IV-2-①は、令和2年3月現在、政令市（静岡市、浜松市）を除く静岡県の本会の会員になっている教室で通級指導を受けている6年生の保護者 117名を対象としたアンケート結果です。中学校での通級指導を希望する保護者が79名と、全体の68%を占めていますが、本県において中学校に発達障害通級指導教室が設置されている市町（資料IV-2-②）は、政令市を除くと、裾野市、三島市、函南町、沼津市、富士市、焼津市、吉田町、磐田市、袋井市に1校ずつのみです。また、藤枝市は中学生のための支援教室を市独自で市内全ての中学校に開設しています。しかし、上記の市町以外では対応がなされていないため、小学校で通級指導を受けていてもその後の指導が途切れてしまい、行き先が無いのが現状です。小学校で通級指導を受けてきた生徒・保護者にとって、自立に向かう中学校期の大切な時期に特別な指導・支援が中断されてしまうことが、大きな不安となっています。

資料IV-2-① 中学校での通級指導を希望する保護者

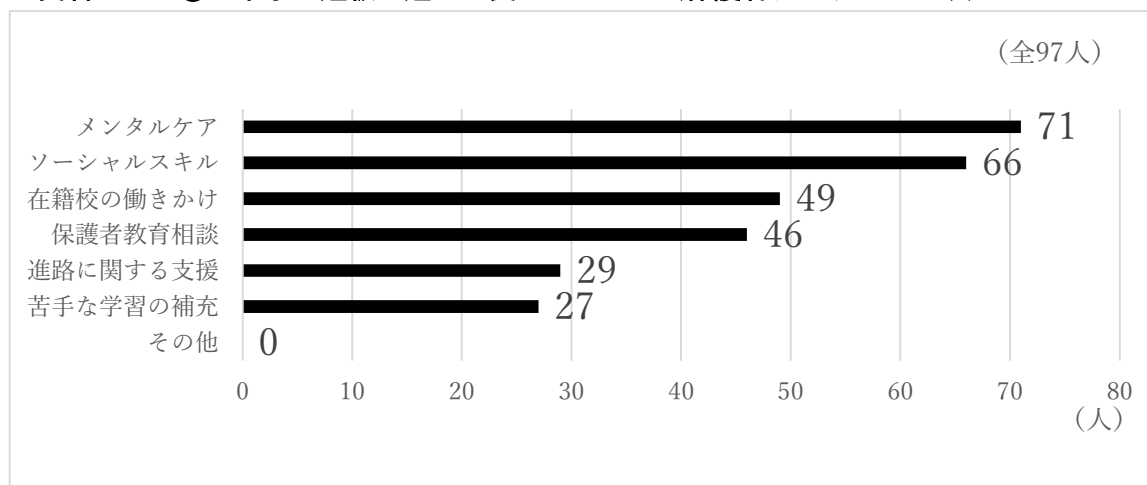


資料IV-2-②



資料IV-2-③は、現在中学の発達障害通級指導教室に通う生徒の保護者 97名を対象とした、中学の通級に通って良かったことのアンケート結果です。メンタルケアやソーシャルスキルトレーニング、在籍校への働きかけがいずれも数値が高くなっており、通級指導内容が多岐にわたり、かつ必要とされていることが分析できます。また、様々な困難さを抱えた生徒の在籍校と通級担当が環境調整などを検討し、合理的配慮を行った結果、困難さが軽減され不適応の悪化を防ぐことにつながった例もあります。さらには、進路先への移行支援を行い、通級生徒が進路先でスムーズにスタートできるように支援しています。このように、中学校の発達障害通級指導教室の役割は多岐にわたり、重要なものになってきています。以上のような結果から、未設置の市町においては中学校における発達障害通級指導教室の新設を進めて下さいますようお願いいたします。

資料IV-2-③ 中学の通級に通って良かったこと（保護者アンケートより）



資料IV-2-④は、令和2年5月現在で県内に開設されている政令市（静岡市、浜松市）を除く9校の中学校発達障害通級指導教室の生徒数です。平成29年4月1日の「公立義務教育諸学校の学級編成及び教職員定数の標準に関する法律」の一部改正に伴い、障害に応じた特別の指導（通級指導）を行う教職員の基礎定数化が盛り込まれ、通級指導を受ける児童生徒13人に1人の教員を配置することになりました。しかし、静岡県の実態は、9教室とも教員1人が13人或以上を超える生徒の指導を行っている現状です。生徒一人ひとりに質の高い指導を保障するためには教員1人当たりの担当生徒数の軽減が必要です。また、通級指導担当には、特別支援教育に関する専門的な知識や指導力が必要なため、計画的な教室経営やスムーズな指導の引き継ぎを行うためにも複数体制が望ましいと考えます。以上のことより現在設置されている発達障害通級教室の担当者の増員を是非ともお願いします。

資料IV-2-④

県内9校中学校通級指導教室生徒数と担当教員数

平成30年度に静岡県立静岡中央高等学校において通級による指導が開始されました。しかし、対象生徒は通信制課程に通う生徒に限定されています。令和元年度3月に行った、通級指導教室に通う中学生の保護者アンケートには、「本人にとって安心できる場所があることが心強いと思う。家庭以外でも弱音を吐いたり、応援してくれたりする居場所があったら嬉しい。」「年齢に応じた人との関わりを教えて欲しい。」「社会に順応できるか不安に思うことも多々あるので、学業とは違う社会生活へのサポートをして頂ければ。」などという声が挙がっていました。また、「自校にある、又は本人のみで通えるのであれば通いたい。」という声もありました。高等学校でも引き続き通級による指導を必要とする生徒は多く、保護者の強い要望もあります。そのようなニーズに対応して頂くよう、全日制、定時制の課程の高等学校にも通級による指導がより広く実施されることを強く要望いたします。

学校名	生徒数	担当教員数
富士市立吉原第一中学校	26人	2人
吉田町立吉田中学校	22人	1人
三島市立南中学校	24人	1人
磐田市立磐田第一中学校	25人	1人
焼津市立大井川中学校	25人	1人
沼津市立第四中学校	37人	2人
袋井市立袋井南中学校	19人	1人
裾野市立西中学校	17人	1人
函南町立函南中学校	18人	1人

*中学生からの新規入級を含む（R2年5月調べ）